



高倉だより



評価特集号

令和4年3月22日

京都市立高倉小学校

～令和3年度 後半学校評価結果を
お知らせします～

学校教育目標

よりよい生き方を求めて、誇りをもち、未来にはばたく高倉の子
～豊かに学び、表現し、高め合う姿をめざして～

今年度後半も、アンケートへのご協力ありがとうございました。後半は、Microsoft Formsを活用して、児童保護者・教職員の3者ともWeb上で実施させていただきました。後半の学校評価についてご報告させていただきます。

集計結果 令和4年2月実施

後半より Forms アンケート実施に伴い、質問項目を部分的に変更しました。後期の結果は、下記の通りです。

そう思う、だいたいそう思うのプラス評価の割合を示してします。
前期と比較して 3%以上上昇・・・◎ 3%以上下降・・・▼

【確かさを育む教育】	児童	保護者	教職員
① 学校の勉強がよくわかる	97%	◎94%	98%
② 自分の思いや考えをすすんで伝え合う	◎89%	▼82%	100%
③ 家庭での読書習慣（読書は好きか）	◎85%	◎69%	85%
④ 家庭学習にしっかり取り組む	96%	95%	100%
⑤ テストやプリントを最後までやりぬく	96%	▼89%	98%
⑥ 学習の準備・学校と家庭の学びの連続性	92%	◎82%	91%
⑦ 学習規律（授業中のルールなど）	95%	▼87%	◎98%
【豊かさ・たくましさを育む教育】			
① 学校生活が楽しい・安心できる	◎97%	93%	97%
② 思いやりのある温かい言葉づかい	◎94%	87%	95%
③ 友達と大切にし合う	99%	94%	98%
④ 学校の約束や決まりを守って行動する	97%	94%	◎98%
⑤ 放課後・休みの日ルールを守る	97%	◎98%	98%
⑥ 学校や家で自分から進んで挨拶する	92%	◎86%	▼80%
⑦ 地域の方にも元気に挨拶する	92%	81%	83%
【健やかな心と体を育む教育】			
① すすんで外遊びをする	72%	71%	93%
② 食事のマナーに気をつける	◎96%	80%	◎98%
③ 食事の好き嫌いなく、残さず食べる	91%	▼74%	93%
④ 朝ご飯をしっかり食べる	96%	95%	／
⑤ 安全に注意して登下校する	98%	97%	98%
⑥ 自分の心や体を大切にする	96%	93%	100%
【高倉小の特色ある教育】			
① 地域学習・伝統文化の学習に興味をもつ	◎94%	◎92%	100%
【学校・家庭の連携】			
① 先生に自分から話をしたり相談したりする	◎84%	92%	100%
② おうちの人に話をしたり相談したりする	89%	91%	／

裏面で、「家庭読書」「あいさつ」「学校・家庭との連携」に関して詳しくご報告させていただきます。

▶4段階評価 そう思う・だいたいそう思う…**プラス評価**
あまりそう思わない・そう思わない…**マイナス評価**
よくわからない … コロナ禍のため、集計には入れず

家庭読書の時間	児童	保護者
A ほぼ毎日30分以上	27%	21%
B ほぼ毎日10～30分	27%	22%
C 週に2～3回	25%	31%
D ほとんどしない	21%	26%

「確かさを育む教育」の①②については、後半においても良好な結果が出ていました。コロナ禍の中で、後半の学習活動では、友達との交流を制限することが多かったですが、児童の結果は向上しています。学習については、課題を抱えている児童もいることをしっかりと受け止めて、よりきめ細かな支援をしていかなければならないと感じています。家庭学習と学校の学習の連続性を意識しながら、今後も取り組んでほしいと思います。読書については、裏面に詳しく掲載します。

「豊かさ・たくましさを育む教育」につきましても概ね良好な結果が出ていますが、マイナス評価をしている児童に対して、道徳や学級活動、各学級での生活の中で、お互いを認め合えるような学習や活動を実施し、自己肯定感を高めたり、人との関わり方をもっと学んでいけるようにしたいと考えています。教職員も子どもたちも自分自身や他人のことをより大切にする気持ちを育てていかなければならないと思います。
「健やかな心と体を育む教育」について、黙食の給食時間を少しでも楽しい時間にするために、校内でも検討を重ね、クラシックミュージックなどの音楽を流すことを1月以降取り入れています。情報委員会の児童が担当してくれていて、毎日曲が流れることを楽しみにしている児童も多いようです。

「地域学習・伝統文化の学習」の項目ですが、1月以降は、スマイル21プラン委員会の各部会の取組が予定通り実施できず、中止になったり、計画を変更したりすることが相次ぎました。そのため児童にとっては、学びが不十分であった点もありますが、数値が向上している結果をみると、地域学習には意欲的に取り組んでいたことが伺えます。また、項目を具体的にしたことによかったのではないかと思います。学校運営協議会の組織が学校の教育課程の中に入り込んで、地域・保護者の方と一緒に学習を進めているのが、このスマイル21プラン委員会の取組の最大の特徴でもあります。よさだと感じています。

アンケート結果より

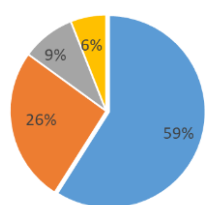
結果

■ そう思う ■ だいたいそう思う
■ あまりそう思わない ■ そう思わない

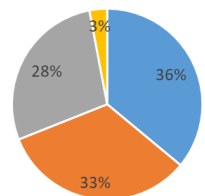
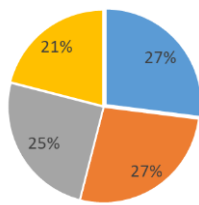
読書について 【項目を2つに分けました】

Q. 読書は好きですか。

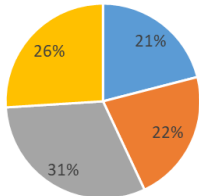
Q. 家で読書をどのくらいしていますか。



児童



保護者



今年度は、昨年度に比べ、図書館での貸出冊数が、減少しました。新型コロナウイルス感染症予防対策で、休み時間の使用学年を制限したことが影響していると考えられます。また、高学年では、一人一端末のタブレット PC になったことで、休み時間にも使用する児童が増えていることも関連しています。各学年の特徴としては、高学年になるにしたがって1冊の本のページ数が多くなるので貸出冊数が減るという傾向が見られます。対策としては、司書の先生がおすすめの本を集約して各学年にお届けし、教室や広いスペースなどで自由に閲覧できるようにもしています。高学年の児童への声かけも丁寧に行っていく必要があると感じています。貸し出される本の種類としては、どの学年も物語の本(小説や絵本など)が多く、続いて歴史・地理分野、技術・芸術分野もよく借りられています。本が好きな子どもにするための工夫した取組を実施していきたいと思います。

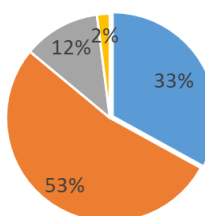
「読書は好きかどうか」の項目では、85%の児童が読書好きと答えています。一方で、家庭読書の時間を聞いたところ、ほぼ毎日30分以上は27%、毎日10～30分は27%、週に2・3回が25%、ほとんどしないが21%(約140名)という結果でした。これまでに学校や図書室と歩む会、スマイルなどの様々な取組により地道にポイントは上昇してきているもの、家庭読書をまったくしていない児童が多数いるということもわかりました。学校での読書習慣と家庭での読書習慣をつなげる工夫を今後しっかりと検討していきたいと思います。子どもたちにも、本との出会いをもっと大切にしてほしいと思います。ぜひご家庭でも働きかけていただけるとありがたいです。親子で本を読む時間を作ってみてはいかがでしょうか？

学年別図書館の貸出冊数 (R2・R3)

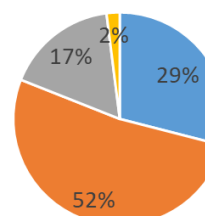
(冊)	令和2年	令和3年
1年	9047	8998
2年	8340	4889
3年	5427	3192
4年	5466	4171
5年	3296	1274
計	31756	22773

挨拶について

Q. 学校や家で自分からですんで挨拶ができていますか。(保護者)



Q. 地域でお世話になっている方々にも元気に挨拶ができていますか。(保護者)

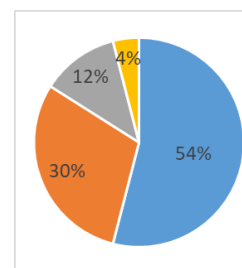


挨拶の項目についても2つに分けています。保護者アンケートでは、学校や家での挨拶についてはプラス評価が88%ですが、地域の方たちへの挨拶に関しては、少しマイナス評価が増えています。子どもたちが大人になり、社会に出た時には、やはり挨拶がコミュニケーションの基本になるのではないのでしょうか。

高倉小学校には、それぞれのブロックで地域の見守り隊の方々が毎日の登下校を温かく見守ってくださっています。また、朝の登校時にはPTA地域委員会さんの呼びかけによって、保護者の方に街角に立っていただき、声かけをしていただいています。子どもも大人も気持ちのよい挨拶がかわせる素敵な小学校でありたいと思います。学校でも全校朝会で子どもたちに挨拶を呼びかけたり、児童会活動で挨拶リレーを実施したりしていますが、ご家庭でもお声かけしていただければありがたいです。

担任との関係について

Q. 先生に自分から話をしていますか。(児童)



マイナス評価

あまりそう思わない

12%

そう思わない

4%

「先生に自分から話をしていますか」という設問に対しては、「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計数が100名を超えていることがわかりました。自分から先生に話をするのがしにくい子どもたちが多数いるという実態を把握した上で、日々の学級指導にあたることを各担任が意識していくようにします。担任は「全員に声をかける」、「困りを早期に気付き、話を聞く」という意識を高めていきたいと思っています。

自由記述欄より (抜粋)

- ・いろいろと大変な中、工夫しながら子どもたちと向き合っていたいてありがとうございます。制限の多い中、子どもが楽しく学んで遊べる環境をつくってください、子どもから話を聞く度に嬉しく、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。(1年保護者)
- ・朝や下校時間、町の方やシルバーの方に挨拶をしてもらい気持ちよく登下校しており感謝しています。残り遊びを終え4時過ぎ少し暗くなった時間帯には飲食店の準備をしているお店の方からも「おかえり！」と挨拶をして見守って頂き、夕方の不安な時間帯でもホッとする様です。地域の方の温かさに支えられて嬉しく思っています。(2年保護者)
- ・コロナ禍が予想以上に長い期間続きコロナ以前に当たり前に行われていた事をしないの方が普通に感じるようになってきています。楽しみにしていた行事も中止は仕方ありませんが、子ども達がワクワクできることがあればよいと思います。(3年保護者)
- ・大変な状況の中、毎日楽しく通うことができていのも学校の先生方、お友達のおかげです。笑顔で学校に向かう子どもの姿をみて、うれしく思います。学習活動の制限が厳しく残念です。理科の実験など、できる限り体験させてやりたいです。(4年保護者)
- ・高学年ならではの友人同士の悩みや学習面の難しさなどを感じた一年でした。コロナ禍で初めて学級閉鎖を経験した息子、家庭学習を喜ぶかと思っていましたが、「早く学校行きたい」と言っていたことが、親としては何より嬉しかったです。(5年保護者)
- ・6年間の高倉小学校での生活は、他校に類を見ない取組も多く、とても有意義なものでした。特に、伝統文化や歴史などに関わる事柄は、将来きっと役に立つ日が来ると思います。コロナ禍で学校の運営が難しい中、先生方には感謝いたしております。(6年保護者)

★【皆様のお声より】★ 上記以外にも、コロナ禍による外遊びの制限の仕方、デジタル環境の整備、荷物の軽減、安全な登下校、読書が嫌いな子どもに向けての工夫などのお声をいただいています。例えば、荷物の軽減などについては、タブレットの持ち帰りが増えたこともあり、さらに学校に置いてよい教科書等を増やし、児童の負担を軽減しました。また、安全な登下校のため、地域の方と協力して、通学路に緑の安全ボールを設置するなどの対策をとっています。学校でも保護者の皆様のお声を聴き、検討を重ね、できることから少しずつ改善しているところです。貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。